

月刊島民

中之島

Vol.121 2018 8/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)

2012.11



ナカノシマ大学

「作家・山崎豊子
との52年」

野上孝子

申し込み受付中!

橋を渡る人の街事情マガジン



2009.10

ナカノシマ大学
キックオフ

東阪電車
中之島線開業



2008.10



大阪市中央公会堂100周年を迎える



2008.8

「月刊島民」
創刊

島民と中之島の10年史

水都「復権」に向けて着々。島民夜明け前。

月刊島民が創刊したのは、ちょうど10年前の2008年8月。バックナンバーをさかのぼりながら、中之島の変化を追っていくが、その前に島民誕生

以前の出来事に簡単に触れておこう。2001年、内閣官房都市再生本部により、「水都大阪再生」が都市再生プロジェクトに指定される。2003

年、大阪府市や経済界などが構成する二つの組織から水都再生の推進が提案されたことを受け、水辺の整備やいわゆる「にぎわいづくり」のためのプロジェクトが始まることになる。

大阪の歴史や文化は川と共に発展し、水辺で花開いた。かつての「水の都」の風景や人々が集うにぎわいを取り戻したい。そんな「水辺推し」の想いに加え、中之島では「水辺ランチ」や「ご来光カフェ」など市民主体の活動も盛り上がり始めていた。こうした動きも、その後の中之島のイメージチェンジを下支えすることになる。

キーワードは「水」と「光」、劇的ビフォー&アフター。

月刊島民創刊号の特集タイトルは、「出た！ワシらのシマが動き出す」だった。「ワシらのシマ」とはなんとも不遜な物言いだが、中之島にとってはまさに動き始めた年だった。

3月、八軒家浜の船着場および遊歩道が完成。シテイクルーズのターミナル的存在が誕生した。続いて5月、阪大病院跡地の「ほたるまち」がまちびらきを迎える。朝日放送の移転をはじめ、堂島リバーフォーラムやタワーマンション、ショップも多数オープンした。同時に、堂島川沿いにほたるまち港も整備されている。

中之島の東西に新たに生まれた水辺の拠点を結ぶように、10月、京阪電車中之島線が開業する。こうした流れの

中でふり返ると、天満橋からなにわ橋・大江橋・渡辺橋・中之島と続く水と川にまつわる駅名が、いかにふさわしい



クルーズが増えた背景には、大阪水上安全協会による船着場の一元管理化(2008年)など、行政の動きも関わっている。

八軒家浜船着場

ものだったか改めて感じられる。

中之島の10年史を考える時、前半の区切りとなるのは2009年だろう。この年開かれた「水都大阪2009」は、水都再生の取り組みを発信するシンポイベントとして大規模に開催され、中之島はそのメイン会場となった。体験型のアートプログラムにワークショップ、クルージングや船着場での朝市、街歩き……小ささまざまなプログラムが連日水辺で練り広げられる様子は、水都復権を身近な形で印象づけ



ほたるまち
まちびらきから10年。ほたるまち港から乗船する多言語対応の次世代型クルーズ「中之島リバークルーズ」もスタートした。

た。また、このタイミングに合わせてバラ園のリニューアルや中之島公園の再整備も進められており、中之島は多

2008年

3月●八軒家浜船着場開設。遊歩道も整備

5月●「ほたるまち」まちびらき。福島港(ほたるまち港)も併せて開港

8月●「月刊島民」創刊

10月●京阪電車中之島線開業



第1号(2008年8月)



水都大阪2009



8月下旬から10月中旬まで、長い期間にわたり開催された「水都大阪2009」。2009年は中之島にとってのシンボルイヤーになった。

くの市民にとって一気に親しみやすい場所となった。モテ期の到来である。先述のさまざまな活動がベースとなり、水都大阪2009を機に市民同士や企業および行政のつながりが多数生まれ、その後の街の原動力ともなった。例えば、土佐堀川に面した飲食店がテラス席を設置する「北浜テラス」。2008年に社会実験として実施され、翌年本格的にスタート。参加店舗はどんどん増え、今やすっかり大阪の名物。その成功はやがて土佐堀通の風景をも変えることになった（P5）。

2009年 8月 ●「水都大阪2009」開催

●「北浜テラス」スタート

9月 ●N4タワー竣工

10月 ●ナカノシマ大学キックオフ

10月 ●「大阪マルシェほんまもん」開催

2010年 4月 ●京阪電車が開業100周年を迎える

7月 ●中之島公園の再整備完了。船着場も整備

●中之島公園のバラ園リニューアル

9月 ●中之島バンクスがプレオープン

10月 ●アートエリアB1で「鉄道芸術祭」初開催

2011年 8月 ●毛馬桜之宮公園内に「大阪ふれあいの水辺」オープン

一方で、忘れてはいけなのが「光」というキーワードだ。島民前史として触れた水都再生の構想の中でもその一翼を担っており、2003年には早くもイルミネーションイベントの「OSAKA光のルネサンス」が第1回を迎えている。

また、これもすっかり定着した橋のライトアップも、2008年の錦橋から難波橋（2009年）、中之島ガ



水都大阪2009の開催に合わせてリニューアルを終えた中之島のバラ園。その詳細は2014年5月号の特集でご紹介した。

中之島バラ園

デンブリッジ（2010年）、玉江橋・堂島大橋（2011年）と加速度的に数を増やしている。高速道路の橋脚や川の護岸までライトアップされ、もはやこれ以上光らせるところはないのではと思うほど。それくらい水と光は相性がよかったのだろう。

2010年には堂島川の河川敷に生まれた中之島バンクスがデザインミュージアムとして胎動を始め、中之島公



OSAKA光のルネサンス

2004年開催の第2回「OSAKA光のルネサンス」。その後、年々規模を拡大し、中之島の西エリアを含む大阪各地で開催されるように。



十年ひと昔
中之島のイメージが西へ広がった。
岸田文夫さん
(中之島まちみらい協議会代表幹事)

以前は中之島と言えば東エリアだけがイメージされ、西は科学館や美術館がポツンとあるような捉えられ方でした。しかし、中之島線やほたるまちができて、光のイベントの成功によって人が回遊するようになり、多くの人のイメージの中に西エリアも入ってきた。これが一番大きな変化です。水辺の開放感を活かしたビジネスセンターを目指すというビジョンを共有しながら、他のエリアにはない中之島の魅力をこれからも発信し続けたいと思っています。

園の再整備が完了して船着場（ローズポート）もできるなど、中之島の「インフラ整備」はひと段落した感がある。月刊島民が創刊したのは、まさに中之島が変わりつつある時期だった。



第3号(2008年10月)



第26号(2010年9月)



長い歴史と非日常感、ホテル・シヤルが徐々に開花。

2012年6月号では、4月にオープンした江之子島文化芸術創造センターにちなみ、江之子島など大阪の「ウエストゲート」を特集している。川口や中央卸売市場南側の安治川沿いを含めたこの一帯は後に「中之島GATE」という新しいエリア名を生み、全国の港から鮮魚が集まる中之島漁港という施設もオープンする(2015年)。

そう言われると、中之島から川によって結ばれる大阪の西部エリアとのつながりを実感するのだから、名前というのは不思議なものだ。

さて、水都大阪にとつてのシンボルイヤーだった2009年を過ぎてしばらくすると、中之島におけるインフラ



2017年には四つ橋筋を挟んだ西側に、フェスティバルタワー・ウェストも開業。地上200mのタワーが並び建つ光景は類を見ない。

2012年

- 4月●大阪府立江之子島文化芸術創造センター／enocoオープン
- 10月●中之島西端でオープンカフェなどの社会実験実施
- 11月●映画「黄金を抱いて翔べ」公開
●中之島フェスティバルタワー開業

2013年

- 4月●フェスティバルホールが再開業
- 7月●ダイビル本館が再オープン
- 8月●「第1回中之島なつまつり」開催
- 12月●ウェディング施設を備えた中之島ラブセントラル開業

2014年

- 9月●NHK朝の連続テレビ小説「マッサン」放送開始
- 11月●「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」初開催

整備的な動きは一旦落ち着きを見せる。代わって活発になってきたのはタワービルなど、民間企業による開発だ。2012年11月、中之島フェスティバルタワーが竣工。朝日新聞社の本社がこちらへ移転すると共に、一時閉館していたフェスティバルホールも翌年再開業を果たした。続いて2013年7月、ダイビル本館が再オープン。旧ビルの意匠を見事に活かしつつ、最新のオフィス機能を備えて生まれ変わった。



煉瓦のほか、1階北側部分や正面玄関上部の彫刻なども可能な限り再利用。その姿勢に「よくぞここまで」の賞賛の声があがった。

両者に共通するのは、最先端のタワービルでありながら、歴史や建築への

愛が感じられる点ではなからうか。フェスティバルタワーが角を丸くするデザインや陶板のレリーフを再現してこれまでの朝日新聞社による建築の系譜を引き継いだかと思えば、ダイビルは旧ビルに使用されていた15万個もの煉瓦を再利用するなど、オリジナルの持つパワーをアピールした。新しく建て替えてもいいところをわざわざ手間で予算を割いたということは、歴史を継承し、街への愛着を持つことが企業に



第53号(2012年12月)



第47号(2012年6月)



生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪



全国から建築好きが集まるイケフェス大阪、2014年の第1回の様子。今年は10月27日(土)・28日(日)に開催。100周年を迎える中央公会堂をフィーチャーしたプログラムも多数予定されている。



とつても大切だと考えたためだろう。確かにこのあたりの時期から、市民の間でもそうした意識が強まってきたように感じる。NHKの朝の連続テレビ小説や大河ドラマで取り上げられた場所や人物が人気を博し、街歩きが盛んに行われるようになってきた。人気に便乗して、「マッサン」なら「島民とウイスキー」(2014年10月)、「朝がきた」なら「豪商どうでしょう」(2015年9月)と「となりの五代友厚」(2016年3月)、「真田丸」なら「大

阪城の江戸時代」(2016年4月)など、島民でもたびたび特集を組んでいる(ネタがないのかと言っただけではない)。そして、そのようなブームを下地にして花開いたのが、島民でも何度も特集している「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」ではなかったか。試験的な実施を踏まえて2014年に始まったイケフェス大阪は、公開される建物の数やエリアを増やし、昨年は悪天候をもとせず3万人もの参加

者を集めた。日頃は外から見るほかない建築の中を見学できる。言ってしまうとただそれだけのことだが、「街には自分の知らない面白さがたくさんある」というシンプルだが大切なことを身をもって知ることができる。同時にホスト役であるビルオーナーや企業の社員たちにとつても建築の魅力に気づききっかけにもなり、経済的な観点からの建築の価値も高まっている。このような街のポテンシャルを積極的に見つけ直して評価するムードの高まりは、豊かな歴史を持ち、それを体現する各時代の建築が建ち並ぶ中之島にとつては大歓迎であり、エリアのイメージアップをもたらした。中之島のポテンシャルとえば、これまでにはなかった解釈で見事に見出したのがウエディング業界だった。2013年12月、堂島側沿いの水晶橋と銚流橋の間に中之島ラブセントラルがオープン。中之島バンクスにもチャペルができるなど、一連の動きを2014年4月号「本日は、お日柄も良く」で紹介した。結婚情報誌の編集長曰く「中之島の一人勝ち」の理由は、都心で交通至便の場所でありながら、川に囲まれ空が高いという非日常感があること。水辺の風景や船を使った演出を加えることもでき、スペシャルなセレモニーにはびつたりなのだ。

十年ひと昔

激変した中之島建築。
高岡伸一さん
(建築家・近畿大学准教授)

近現代の名建築、朝日ビルと新朝日ビルを筆頭に、昭和を彩った中之島建築は、この10年ではほとんど姿を消してしまいました。その一方、イケフェス大阪が触媒となり、中之島東部の歴史的建築物群と西部の黒川紀章設計の大阪国際会議場が連携を模索し、ついに大阪市の新美術館も動き出すなど、建築文化の土壌は確実に耕されつつあります。そこから生まれる新しい中之島建築がどのようなものになるのか非常に楽しみです。

10年史の半ばにあたるこの時期は、景気の低迷により、身近にあるもので楽しみを探そうという空気もあったが、それによって思いがけずポテンシャルを發揮することになった時代でもあった。インパウンドの大波という幸運にも恵まれながら、このポテンシャルは中之島をさらなるバージョンアップへと導くことになる。



2013年にオープンした中之島ラブセントラルのウエディングスペース「中之島リバーワンダーランド」のチャペル。写真/平野愛

「ストリート化」した中之島に発見する、新しい大阪。

「土佐堀ストリートジャーナル」などという駄洒落のタイトルで特集を組んだのは2015年7月のこと。ビルの1室を使った新しいショップが増えたり、古いビルを1棟丸ごとリノベーションしたりといった動きが同時多発的に見られた土佐堀通沿いのニュースをまとめたものだった。

歴史や文学などのイメージの強い（かもしれない）月刊島民だが、実は定期的にこうしたストリートの動きを捉える特集を企画するようにしている。



大阪府立中之島図書館



大阪府立中之島公会堂

【公会堂SHOP】(上)と【スモーブローキッチン】(下)。中之島の2大建築にショップやカフェができたことの意味は大きい。

2015年 2月●中之島漁港オープン

6月●「中之島文楽」初開催

9月●大阪府中央公会堂地下1階に「公会堂SHOP」オープン
●NHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」放送開始

2016年 1月●大河ドラマ「真田丸」放送開始

4月●大阪府立中之島図書館にカフェがオープン

6月●「中之島駅ホーム酒場」初開催

2017年 2月●大阪新美術館の設計コンペで遠藤克彦氏が最優秀案に

4月●中之島フェスティバルタワー・ウエスト開業

8月●「京阪特急プレミアムカー」デビュー

2018年 3月●中之島香雪美術館オープン

8月●月刊島民が10周年を迎える

11月●大阪府中央公会堂が100周年を迎える

そして、10年史の後半にあたるこの時期、すなわちここ3年ほどを見返すと、新しい話題を扱ったものが目立つ。それだけニュースが多かったということだろう。

例えば2016年5月号はそのものズバリの「新中之島」。大阪府立中之島図書館にできたカフェ「スモーブロー

キッチン」を筆頭に、バラエティに富んだニュースを取り上げた。このカフェのオープンは、その前年に大阪府中央公会堂にオリジナルグッズや土産物を揃えた「公会堂SHOP」ができたこととセットで捉えるべきだと思う。重要文化財であり、単なる集客施設とは性格の異なる2大建築が、自ら敷居



第117号(2018年4月)



第86号(2015年9月)



新しい絆が生まれています。

桐生幸之介さん
(中之島連合振興町会)

この10年の間にタワーマンションが2棟建設されました。積極的に町会行事に参加してくれる方は年々増え、町会への入会に関する問い合わせもたくさんいただいています。町会役員の高齢化によって毎年8月の「精霊流し」の継続が難しい状態になった時には、中之島のオフィスワーカーの方々が費用面に加え、当日の運営にも尽力してくださいました。住民同士はもちろん、働く人たちとの間に中之島の「新しい絆」が芽生えつつあります。

十年ひと昔

を下げるように市民に歩み寄ってきたことの意味は大きい。さらに2017年4月号では「水辺最前線2017」と、これまで直球のタイトルで、今度は川と水辺に絞って新しい動きに注目し、カスタマイズ化・バラエティ化するクルーズ事情や女子が行列をつくるニューオープンのカフェを紹介している。



クルージング



シティクルーズの最近の人気はナイトクルーズにシフトしている。写真は中之島ラプセントラルから発着する「GRACE1」。

これらの特集において扱った一連の現象を、中之島の「ストーリー化」と呼ぶのはどうだろう。明治時代以来のシビックセンターとして他とは一線を画してきた中之島に、キタやミナミのような繁華街と同様の流行軸が持ち込まれるようになってきたのではないかとはいえず、それは悪いことばかりではないように思う。



インスタ映え

今年3月に行われた中央公会堂主催のインスタ講座で撮られた写真。「インスタ映え」なら中之島におまかせといったところか。

なぜなら、公会堂のショップやリニューアルしたレストランにしても、図書館にできたカフェにしても、建築の良さをきちんと活かし、長年培ってきたイメージに沿ったものであるからだ。行列のできるカフェにしても、水辺のロケーションを上手に活用しており、それは前述した歴史や非日常感という他のエリアにはない中之島の魅力が広く知られるようになった結果でもある。流行りの現代的なセンスによって生まれる空間が、中之島でしか実現できないものであるならば喜ばしいことだ。あるいはそうしたパワーを上手に飲み



インバウンド

中之島公園やバラ園は外国人観光客にも人気のスポット。2016年の取材時にもアジアやヨーロッパなど多くの国の人に出会った。

込む土地の力があるということか。興味深いのは、そんな風に新しい一面を発見するのは常に外からの視線であることだ。歴史ある建築をカッコいいと捉えなおすのは若い世代だし、川のある特別な風景が「映える」ことに気づいたのも若い女性たちだった。いずれも「渋いオフィス街」といったかつての捉え方とは異なるイメージ。奇しくも先月号は長つたらしいタイトルで、SNSでシェアされる中之島を取り上げたばかりだった。

そう考えると、外国人観光客というもつと外部の人々の目に、中之島が新しい大阪の風景として映るのは当然かもしれない。「中之島インバウンド」という特集をした2016年7月は、まさにインバウンドの波が中之島周辺でも如実に感じられるようになってきた頃だった。その影響はまだしばらくおさまらずにそうしない。



景気に「永遠」はありません。

齊藤成人さん
(経済アナリスト)

大阪の景気は「訪日外国人客」と「輸出」が牽引して堅調に推移。統計指標も好調です。いずれも為替が円安基調であること、日本の周りの国が成長して購買力が高まっていることが背景にあります。当面はこの景気が続くと言われていますが、つい10年前の2008年はリーマンショックの年。大阪の不動産市況は最悪で、「派遣切り」など街中に悲壮感が漂っていました。「絶対」や「永遠」などないことも覚えておかなければいけません。

十年ひと昔

中之島のこの10年間を急ぎ足でふり返ってみた。水都大阪復権の号令のもとに水辺の環境整備が行われ、そうしたインフラ整備が民間企業の開発を後押しし、市民にとって親しみやすい場所となり、新たな魅力が次々と発見されていった。ずいぶん単純化した言い方だが、大まかにはそういうことになる。

この後も目が離せない!? ビッグプロジェクト続々。

昨年9月に発表された「こども本の森 中之島」(仮称)の計画。中之島公園に子供のための図書館を建設するというもので、施設の設計費・建設費は大阪出身の世界的建築家・安藤忠雄氏が寄付する。準備や運営のための資金は企業や市民からの寄付によって賄う

とされていたが、大阪市の発表によれば今年3月末時点で目標を大きく上回る3億円を超える寄付が集まった。安藤氏而言えば、著書の中で何度も中之島に対する熱い思い入れを語っており、今回ようやく宿願を叶えられる。今年秋には着工し、来年の秋には早くも開館する予定。このスピード感もさすがは「世界のアンドウ」といったところだろうか。

ところで、その新美術館の隣で進められていた「中之島アゴラ構想」はちよつと迷走気味だ。もともとは大阪大学が2016年に大阪市に提案したもので、中之島センターに隣接する市有地に、文化芸術や医学などの知的資源や人材の発信拠点を新設したいというものだった。ところが整備費用の見通しが立たないことから、計画の見直しが発表された。

これら以外にも、中之島を通るものが決まったなにわ筋線(2031年の予定)や、決まれば何らかの影響がありそうな大阪万博やIRの構想など、とにかくいろいろありそうな中之島の未来ではある。



中之島公園

「こども本の森 中之島」の建設予定地。川に面して大きな窓があるデザインらしい。

一方で、こちらも長年の計画が実を結ぶ。大阪新美術館(仮称)はついに動き出し、2022年春頃の開館に向けて着々と準備が進められている。先日は美術館の正式名称が公募されたが、島民読者諸君は応募してくれただろうか? 選定結果は10月頃に発表されるとのこと、また一步、オーブンへ向けての階段を上ることになる。

とは言え、大きな敷地をいつまでも放っておくわけにはいかない。大阪府は大阪府や経済団体などにも協議を続けており、大阪府は今年5月、マーケット・サウンディング(市場調査)を実施し、「未来医療国際拠点の建築計画」や事業取支計画を募った(結果はまだ公表されていない)。大阪側も拠点の新設は断念したものの、アゴラ構想自体は中之島センターの機能を強化しながら進めていく予定



中之島4丁目

大阪新美術館の建設予定地。その隣に「未来医療国際拠点」ができるかどうか。

とのこと。

これら以外にも、中之島を通るものが決まったなにわ筋線(2031年の予定)や、決まれば何らかの影響がありそうな大阪万博やIRの構想など、とにかくいろいろありそうな中之島の未来ではある。

こんな講座もあったねと…

ナカノシマ大学 名場面集

2010 「目指せ!ビルマニア養成講座」



**BMC (ビルマニアカフェ)
@丹平ビル**

今はなき丹平ビルを会場にした講座は大好評だった。街の人たちの気分をすくいて企画するというナカノシマ大学の現場主義的感覚を方向付けた。

2011 「御舟かもめに乗って学ぶ、中之島の川と船」



**中野弘巳
@八軒家浜~大川~堂島川**

川に囲まれた中之島のだから、やっぱり船に乗らないといけないと企画した講座。今よりもずっと川をゆく船が少なかった時代の話。

2013 「すごいぞ!鉄道王国・大阪」



**黒田一樹
@大阪市中央公会堂**

登壇した講座はすべてあつという間に満員止り止めという金字塔。亡くなった黒田一樹さんのあの中毒性のあるトークをもう一度聴きたい。

2015 「ナイト・ライブラリー」



**橋寺知子
@大阪府立中之島図書館**

中央公会堂で中之島図書館の建築に関する講義を聴いた後、閉館後の書庫を見学できるというなんと豪華な建築ツアー。

2016 「大阪ミステリー夜話」



**有栖川有栖・久坂部羊
@大阪倶楽部**

中之島を舞台にした有栖川有栖さんのミステリー「鍵の掛かった男」にちなんだ作家同士の贅沢な対談は、遠く関東や九州から参加する人も。

2017 「大相撲2017年問題を語ろう」



**浦風富道
@FOLK oldbookstore**

稀勢の里の横綱昇進で一気に盛り上がった大相撲。熱気の高まりを受けて会場は満員御礼。浦風親方手作りのちゃんこも大好評だった。

2009 キックオフセミナー 「21世紀は街場で学べ!」

**鷺田清一・内田樹・
釈徹宗・平松邦夫
@大阪市中央公会堂**



記念すべき第1回は当時の阪大総長に大阪市長も交えての豪華すぎるメンバー。「街場の学び」は、確かにその後の中之島のあるべき姿を予言していた。

2010 「ウイスキーがお好きでしょ?」

**福土収 (サントリー山崎蒸溜所)
@中央電気倶楽部**



中之島や堂島と縁深いサントリー。「山崎」や「響」をはじめ4種類のシングルモルトをテイステイングできる講座は、今では実現できなかったかも。

2012 秋の集中講義「大阪論」

**中沢新一
@中央電気倶楽部**



「大阪アースダイバー」の出版に合わせて、2日間にわたって開催した中沢新一先生による大阪論。歴史・文化・言葉など、時空を超えるスケール感。

2014 「島民のための盆踊り練習会」

**天竜小若丸・
山崎美恵馨・松井幸一
@古河大阪ビル 屋上**



八尾市から河内音頭の音頭取りの師匠、踊りの先生、研究家を招いてビルの屋上に集まってみんなで盆踊りの練習。…無茶をしたものだ。

2015 落語会「天神祭の極意」

**林家花丸・笑福亭たま・
笑福亭生寿
@追手門学院大阪城スクエア**



天神祭にちなんだ落語を3席と高島幸次先生によるトーク。落語と講義の組み合わせもここ10年のうちにすっかり珍しいものではなくなった。

2016 「今夜もデラックス! 生きた建築ナイト」

**万城目学・倉方俊輔・
高岡伸一
@大阪市中央公会堂**



毎年恒例になりつつあるイケフェス前の建築講座。この年は建築好きとしても知られる作家・万城目学さんをお招きしてトークを盛り上げた。



21世紀の
懐徳堂
プロジェクト



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

大阪が生んだ作家に
一番近い人が語る!

◎今月の授業

【山崎豊子】



1993年、『沈まぬ太陽』の取材でケニア・ツァボ国立公園を訪れた山崎豊子(左)と。

2018年9月講座

「作家・山崎豊子との52年」

講師／野上孝子(元秘書)

没後5周年特別企画!
船場が生んだ日本を代表する作家と共に世界の果てまで取材した日々を語る。

昭和37年(1962)2月、大学卒業間近だった野上さんは就職課で「秘書、求む」の張り紙を目にし、山崎豊子作品を読んだこともなかったのに応募する。面接当日、赤い緑の眼鏡をかけて真っ赤なマニキュアをした和服姿の作家に驚愕し、これまでに何人かの秘書が長続きしなかったことも知る。周囲は「もって2~3年」と。

毎日が叱責の連続。原稿を読んで何も言わないと「意見なき者は去れ」。褒める



会場は、山崎豊子の母校!

船場のど真ん中にある相愛大学本町学舎は、御堂筋の一つ西の筋を本町通から上がったところ。山崎豊子の母校「相愛女学校」の場所に建っている。

と「おべんちゃらを聞いているのではない」。大変なところに来たと思っていたが、『白い巨塔』の執筆中に、ある提案をしたことで少しずつ関係が変化していった。

「船場もの」でデビューした一人の女性作家がやがて「社会派」として飛躍し、そして『二つの祖国』『大地の子』『沈まぬ太陽』などの大作を世に送り出した。今も日本を代表する作家として多くの読者を引きつける山崎豊子の「圧倒的進化」を最も近い場所で見守り、欧米から中東、シベリア、中国、アフリカ……と取材に同行した野上さんのお話は、山崎作品の「もう一つの物語」として実に濃く、聞きどころ満載。代表作を軸に据えた52年間と、大作家の肉体的なエピソードも披露。山崎作品と野上さんの著書も販売します。

山崎豊子年表

- 1924 南船場の昆布店[小倉屋山本]に生まれる
- 1936 大阪市立蘆池小学校(現・南小学校)卒業
- 1941 相愛女学校(現・相愛中学校・高等学校)卒業
- 1944 京都女子専門学校(現・京都女子大学)卒業
毎日新聞大阪本社調査部入社
- 1945 学芸部に異動。
副部長(当時)の井上靖に指導を受ける
- 1957 『暖簾』で作家デビュー
- 1958 『花のれん』で第39回直木賞受賞。
毎日新聞社を退社
- 1959 『ぼんち』
- 1961 『女の勲章』
- 1962 野上孝子さんが秘書に
- 1963 『女系家族』
- 1965 『白い巨塔』
- 1969 『純白い巨塔』
- 1973 『華麗なる一族』
- 1976 『不毛地帯』
- 1983 『二つの祖国』
- 1991 『大地の子』
- 1999 『沈まぬ太陽』
- 2009 『運命の人』
- 2013 『約束の海』週刊新潮連載中に89歳で死去
- 2014 『約束の海』



のがみ・たかこ 1939年名古屋生まれ。1962年大阪女子大学国文学科卒業。以来52年間、山崎豊子氏の秘書に。著書『山崎豊子先生の素顔』は、この秋に文春文庫化。本誌90号「山崎豊子をおくる。」にも登場。

募集要項

「作家・山崎豊子との52年」

日時／2018年9月27日(木)
7:00PM~9:00頃(開場6:15PM~)
会場／相愛大学本町キャンパス内
受講料／2,000円(おみやげ付き) 定員／180名
主催／ナカノシマ大学事務局
特別協力／相愛大学
協力／「豊子忌」実行委員会 小倉屋山本

お名前・ご住所・電話番号・人数・講座名を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。複数名でご参加希望の場合、ハガキ、ファックスについては、人数分の必要事項を明記してください。

〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号
「ナカノシマ大学9月講座」受付係 FAX.06-6484-9678

※先着順で受付後、8月20日午後より受講票をお送りします。
※受講料は講座当日に受付にてお支払いください。
※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。
※当日のお車ならびに自転車でのご来場はご遠慮ください。

ナカノシマ大学の最新情報は

<https://nakanoshima-daigaku.net/>

ケータイや
スマホからは
こちら!→



お問い合わせ
☎06-6484-9677
(ナカノシマ大学事務局)

八月席のご案内

申込受付中

●お題「明治時代の落語」

「明治は遠くになり」

「降る雪や明治は遠くになり」というのは俳人・中村草田男の句だが、平成最後の年を生きる私たちにとって明治は確かに遠か昔の時代のように。今回は明治時代が舞台となる噺を聞いて、明治を回想しようという趣向。鼎談ではゲストに大阪大学教授の金水敏さんをお呼びして、貴重な明治時代のレコードを聴いてみる。

落語／桂花園治「ぜんざい公社」

桂文三「動物園」

桂春雨「代書屋」

桂文之助「胴乱の幸助」

桂かい枝「三十石」

鼎談／明治の音源を楽しむ

ゲスト／金水敏（大阪大学教授）

高島幸次（大阪大学招聘教授）

桂文三

ナカノシマ大学でお得な前売り券を発売中！

開催日／8月25日（土）

開演時間／6:00PM（開場5:30PM）／受付開始5:15PM（）

受講料／2300円（通常）前売2500円／当日3000円

お支払い方法／当日（5:15PM）繁昌亭入口付近の「ナカノシマ大学受付」にてお支払いください。

※予定枚数に達し次第、予約受付を終了します。※ナカノシマ大学では当日券の販売は致しません。

●お申し込み方法、お問い合わせ先はP10を参照してください。



桂文三さんは「動物園」のネタに加えて、今回は鼎談にもご登場。

ゲストの金水敏先生。明治のレコードはなかなか聴けないレアものだ。

右は桂かい枝さんの「三十石」。いつの時代にも人気の上方落語の定番。

イラスト／フジワラトモコ

六月席の二コマ

御来場御礼

鼎談／「人はなぜ嘘をつくのか」

内田樹（思想家・武道家） 桂春園治 高島幸次

高 6月25日は菅原道真公のお誕生日なので空席をつくってはいけな... 嘘は愛嬌のかけらもありません。

内 桂さん枝師匠のマクラの浮気がバレた話が特に面白かったですね。春 あれは嘘やなしにホンマの話でつせ。

高 天神寄席ではいつもテーマに沿った落語を選んでもらっていますが、今回はさらっと決まったようです。それくらい嘘にまつわる落語って多いんですね。

内 嘘をついて、その嘘を取り繕うためにまた嘘をつく。そのうるたえる様が笑いつながるのでしようね。

春 しかし落語の嘘と違い、最近のニュースで見ると嘘は愛嬌のかけらもありません。

内 そう言えば昔、友達の内 検事から聞いた話ですが、取り調べで供述の矛盾を指摘されて素直に「参りました、私が犯人です」となるのは知的で論理的な人だけなのだそうです。そういう人は普段の自分の言動に矛盾がないと思っているから、矛盾を突かれると深く諦める。だから「刑事コロンボ」や「古畑任三郎」の犯人ってみんな知的な人ばかりでしょ。ところが知性のない人間はいろいろ矛盾を指摘しても「覚えてません」で終わります。いくらなんでも記憶力がないだけでは逮捕できませんから。

春 言われてみれば確かに、アホには犯人は務まりませんわな。



ちょっと、隣のビルまで。

取材・文 / 青木雅幸(本誌)



第28回

【大阪高裁内ブックセンター】@大阪高等裁判所

ベテラン書店員が待つ、小さな専門書店。



「鎌倉幕府訴訟制度の研究」(岩波書店)や、70年ぶりに復刊された「新版 中世武家不動産訴訟制度の研究」(高志書院)などが特別扱いではない雰囲気ではないかと感じるのだが。



岡村さん(左)と人見泰司店長(右)。全国の専門書版元の営業担当者が恐れをなす最強のツートップ。



「六法」というのはこんなに種類があったのか。

本誌編集部から最も近い書店は、なんと大阪高等裁判所の中にある。「ちょっと、隣のビルまで」とは言ったものの、場所柄、入るにはややものものしい。持ち物のX線チェックと金属探知機をくぐって入館手続きを済ませると、庁舎の1階にあるのが「大阪高裁内ブックセンター」だ。

10坪ほどの店内は、当たり前だがぎっしりと法律や裁判関係の専門書や定期行物が並ぶ。お客さんはやはり弁護士さんが一番多いとか。顧問の岡村正純さんは昨年末に入社、某ナショナルチェーンの専門書担当としてその名を全国の出版社にとどろかせたベテラン書店員だ。

「もちろん法律の実務書が一番売れます。やっぱり訴訟の最前線ですからね。それと週刊誌もよく売れますよ」と笑顔で話す岡村さん。ただ、それだけでは面白い棚にならないと、「法律に絡むテーマの小説から、心理・医学・建築関連書までジャンルを広めに解釈して、積極的にさまざまな本を置くようになっています」。長年の経験値を活かした品揃えには自信がうかがえ、この売り場だけなら大型書店の棚にも負けない勢いだ。

その岡村さん、数年前からコツコツ書き貯めていた『人文書担当者のための日本史概説』(歴史書懇話会)を今年7月に上梓。「もともとは前の職場で社員研修用資料に準備していたものを、吉川弘文館の春山晃宏氏の協力もあって本にしてもらいました」と照れながら話す様子は新人作家のようでもある。

168ページからなるこの本は、人文書(主に日本史)担当の中堅書店員向けの棚作り指南書とのこと。「現役書店員さんたちに頑張ってもらいたいので、少しでも品揃えのヒントとなったらいいなと思います。書店の棚が充実して楽しくなればお客さんも幸せだし、来店数も増えると思いますからね」と夢を語ってくれた。



大阪高裁内ブックセンター

法律書専門取次の大学図書直営による書店。ちなみに、東京の「弁護士会館ブックセンター」も同系列。岡村さん執筆の『人文書担当者のための日本史概説』は非売品だが、歴史書懇話会から全国の人文書担当者に順次配布されること。もし記事を見て「ほしい」と思った書店員さんは、岡村さんを訪ねてみてほしい。在庫があるかも。オンライン書店も運営している。☎06-6315-5511 9:00AM~5:30PM 土・日・祝休 <https://homutosho.com/>

大阪水上バス・岸田俊徳の

水辺で会いましょう



大阪水上バス株式会社企画宣伝部長。ミナミの劇場プロデューサーを経て、関西・大阪21世紀協会にて大阪の文化事業に関わる。2010年より現職。

「クルーズと一緒に食事」

アクアライナーが運航する航路には、ちょっといいお店がいくつもあります。大阪を代表するホテルや星が付いたレストラン、そして知る人ぞ知るような名店。ご乗船の後にゆっくりと食事を楽しむ方も多くいらっしゃいます。

大阪水上バスには、ホテルニューオータニ大阪とのコラボプランで、[ダイニングSATSUKI]でのお食事がセットになった「満喫満腹プラン」があります(土・日・祝限定)。その他、同じくニューオータニのスカイラウンジ[フォーシーズンズ]、中国料理[大観苑]、カウンター割烹[季処 一心]でのお食事がセットにな



※満喫満腹プランメニュー(一部)

ったプランや、[ルポンドシエル]や[和食さがん]、ホテル京阪 京橋 グランデとのセットプランもありますよ。

やはり観光で肝心なのが目的地周辺でのおいしいお食事! 旅行に行く前から、何を食べようかを考えるのもとても楽しいですね。中之島周辺は昔から舟運が栄えた場所。北前船も天満橋に来ていたので、この辺りでは日本全国の名物がいつでも手に入ったようです。現代のみなさんも大阪の美味しいお食事を満喫してください。

満喫満腹プラン

☎0570-035-551



<http://suiju-bus.osaka/>



今年も夏のファイナルを飾る中之島なつまつり2018

トウミン月報

2018年8月1日発行

中之島の夏の風物詩と言え「中之島なつまつり」。今年も京阪電車中之島駅前の大阪国際会議場の1階プラザに櫓を組み、河内家菊水丸さんを迎えての盆踊り大会をメインに、シンガーソングライター白井大輔さんの参加や、大阪大学のベリダン・スサークル「Hatawaat」のエキンチックなパフォーマンスなど盛り沢山の内容だ。

中之島なつまつり2018

日時/8月27日(月)
5:00PM~9:00PM(予定)
会場/大阪国際会議場
1階プラザおよび中之島バンクス
入場/無料
詳細は<http://nakanoshima-natsumatsuri.jp/>

恒例のリーガロイヤルホテル(大阪)をはじめ、中之島界隈の人気店などによるグルメ屋台がずらりと並び、それぞれに趣向を凝らした「おまつりメニュー」が登場するほか、スーパースポーツといふほどのキッズ縁日コーナーも。また、中之島バンクスの乗船場からは、大阪水上バスのアクアミニによるワンコインのナイトクルーズが楽しめる。夏の終わりを飾るフोटोजェニックな風景に出合えること間違いなし。

25)、大阪市は市域拡張によって面積・人口ともに東京市を抜いて日本一となり、当時世界第6位の大都市となった。その時代の建築や都市景観について、大阪の都市計画を指導した建築家である片岡安の仕事を通して振り返る展覧会が、大阪くらしの今昔館

で開かれる。建築図面や都市美を描いた絵画のほか、イマジユイと呼ばれるチラシやパンフレットなどが多数展示され、大大阪モダニズムと呼ばれるこの時代の美術・文化を再評価する。片岡はその業績の量に比して、現存する建築が少ないこ



「大大阪時代」とは何だったのか? 建築・絵画を通して振り返る

大阪市中央公会堂開館100周年記念 特別展 「大大阪モダニズム—片岡安の仕事と都市の文化—」

期間/9月2日(日)まで
開館時間/10:00AM~5:00PM(入館は4:30PMまで)
休館日/毎週火曜日(7月24日は開館)
会場/大阪くらしの今昔館 企画展示室
入館料/300円(特別展のみ)
常設展+特別展800円 高校・大学生500円
問い合わせ☎06-6242-1170

とから、広く知られているとは言えない面がある。片岡も関わった大阪市中央公会堂が100周年を迎える今年、あらためてその時代に思いを馳せよう。



「お客様の気持ちに向き合って 施術方法を決めています」

大学の時に、体育会系のバスケットボール部に所属していました。試合に出ないようになってから、裏方の業務を担当した経験もあり、将来もトレーナーなどの表舞台に立つ人を支える仕事をしたいと思っていました。体育会系の学生のために、グローバル治療院が校内出張治療を行っていました。「ここなら手に職をつけることもできる」と、大学卒業後に迷わずこの仕事に就きました。

当店は、リラクゼーションスペースの「でもみん」を展開するグローバルスポーツ医学研究所が運営しています。「治療院」と名がつく通り、マッサージ以外に、鍼治療、電子温灸治療、光線治療などを統合して施術を行います。私も入社後、はじめて働きながら鍼の資格を取り、こちらへ移りました。市内では、梅田店、心斎橋店に続き3店舗目になります。

ご来店いただきましたら、まず痛みの



ベッドは7床。ゆったりとした個室で施術が受けられる。ベッド横にある扇風機のような機械は、免疫力の促進が期待できる光線治療器。

ある箇所や症状をお聞きします。マッサージで治らない痛みも、ぜひご相談くだ



お客様の口コミで広がる店になるように [グローバル治療院] 院長 北川敦子さん

合が多く、「もっと短いコースを」というリクエストにお応えして15分コースも行うています。15分とはいえ、ベッドで治療を行うと「すっきりした!」と、とても喜んでいただけます。その言葉が何よりも励みになりますね。「同僚にも勧めるよ」と声をかけていただくこともあり、口コミで広がっていただけるようなお店にしたいと思っています。

痛みの緩和治療の他には、肌の活性化やリンパの流れを整えるオイルトリートメントも行っています。こちらは女性のお客様が多いですね。お店の入口は土佐堀川沿いの少しわかりづらい場所になりますが、女性のお客様からは「入るのに目立たないところがいい」と言っていたり、ともあります。

さい。どんな症状もお客様の気持ちに向き合って、施術方法を決めています。ベッドでの施術は、30分からになります。中之島店のお客様の多くは、近隣のオフィスで働いている方やイベントに来られた方など、時間にあまり余裕ない場

オープンして、ようやく2ヶ月が経ちました。まだまだお店のことを知らない方も多いので、まずは知っていただくころから頑張りたいですね。



祝祭へようこそ。



<http://festivalplaza.jp/>
提供/株式会社 朝日ビルディング

Information from **グローバル治療院** 中之島フェスティバルタワー店
[中之島フェスティバルタワー1階]

なかなか改善しない肩こり、頭痛、腰痛、スポーツによる疲労など、一人ひとりの症状に合わせ、マッサージ・鍼治療・電子温灸治療・光線治療を組み合わせて治療する。チェアベッドで行う首・肩の上半身コースは1,080円(10分)～。ベッドで行う統合治療は2,160円(15分)～。☎06-6203-8515 10:00AM~9:00PM(土・日・祝~8:00PM)



島民MAP



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪グループ 京阪電車主要駅 京阪特急プレミアムカー / ホテル京阪 淀屋橋 / ホテル京阪 天満橋 / ホテル京阪 京橋 グランド / パナソニック天満橋 / 京阪シティモール / 京阪モール
- 大阪市北区・中央区・福島区 [書店] 旭屋書店 梅田地下街店 / 大阪高裁内ブックセンター 紀伊國屋書店 梅田本店・グランフロント大阪店・本町店 / ジュンク堂書店 大阪本店・天満橋店 / MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店 / 文芸堂書店 淀屋橋店 / 隆祥堂書店 [公共施設・大学関連施設など] アイスボット / 朝日カルチャーセンター / 味の素 食のライブラリー / 朝日放送テレビ・ラジオ / 朝日放送テレビ・ラジオ / 大阪工業技術専門学校 / 大阪国際会議場 / 大阪市中央公会堂 / 大阪市立科学館 / 大阪市立総合生涯学習センター / 大阪市役所市民情報プラザ / 大阪城天守閣 / 大阪商工会議所 / 大阪大学中之島センター / 大阪21世紀協会 / 大阪府立中之島図書館 / 大阪ボランティア協会 / 大阪歴史博物館 / 追手門学院 大阪梅田サテライト / 川の駅はちけんや / 関西学院大学 大阪梅田キャンパス / 慶應大阪シティキャンパス / 国立国際美術館 / CITYNAIL'S インターナショナルスクール / 芝川ビル / 市立住まい情報センター / 少彦名神社 / 中央電気倶楽部 / 適塾 / ドーチカ / ホテルNCB / メビック扇町 / 立命館大阪オフィス / 龍谷大学大阪梅田キャンパス [店舗・医院など] アンドール 本町本店 / 上町貸自転車 Ultra 2nd / 江戸前惣料理 志津可 / 天満橋鍼灸整骨院 / MJB珈琲店 / エルマースグリーン コーヒーカウンター / 大西洋飯店 / OOO(オーオー) / カセッタ / 喫茶センター / 喫茶SAWA / グラントリート中之島 / 黒門さかえ / コモンカフェ / The Court / サトウ花店 中之島本店 / ザ・モロディ / シアトルバストコーヒー新聞電ビル店 / じろう亭 / Girond's JR / 心齋橋山田兄弟歯科 / 住友病院 / センイレブ(大阪証券取引所) / タビエスタイル / たまがわ鍼灸整骨院 / 東郷歯科医院 / NAKAGAWA1948 淀屋橋店 / ナンジャー / パストラーレ / 花かつ / BAR THE TIME 天神 / 平岡珈琲店 / ビルマニアカフェ / FOLK / プレミアムハウス / ミニジロー / 富崎歯科 / やきとりばかや / 吉田理容所 / LES LESTON
- 大阪市内その他 [書店] 旭屋書店 なんばCITY店 / 紀伊國屋書店 京橋店 / ジュンク堂書店 難波店 / 福島書店 / 柳々堂 / ルーブル書店 [公共施設・大学関連施設など] 大阪科学技術館 / 大阪市社会福祉研修・情報センター / 大阪市立中央図書館 / 大阪府立江之子島文化芸術創造センター / 川口基督教会 [店舗・医院など] あじさい / アートアンドクラフト 欧風食堂 ミリパール / 大阪シティ信用金庫 江戸堀支店 / 御舟がもめ / カルチャーカフェ上方 / Calo Bookshop and cafe / 写真とプリント社 / 鳥かごキッチン / ネイルサロン スワンナ / ハルピコ / ホステル64オオサカ / MANGUEIRA / Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店 / 学運堂 / Books 呼文堂 / 水嶋書房 千早はもろ店 / 大阪狭山市立図書館 / 大阪市立難波市民学習センター / 大阪大学企画部広報・学連携事務局 / 大阪大学 21世紀協働堂 / 大阪大学本部 / 大阪府立中央図書館 摂南大学 地域連携センター / 野村呼文堂 / 郵政考古学会 / ゆったりんこ / 連携考房 童子
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店 / 恵文社 一乗寺店 / 水嶋書房 丹波橋店 / 伊丹市文化振興財団 / 川のほとりの美術館 / 納屋工房 / タバーン・パン・ブロン / 百蔵 / 奈良県立図書館情報館 / 龍谷ミュージアム
- 東京 往来堂書店(千駄木) / BOOKSルーツ(吉祥寺) / B&B(北沢) / 隣町珈琲(荏原中延) / ONLY FREE PAPER(東小金井) / かもめブックス(新宿)

◎バックナンバーが見られます。

最新号の発行と同時に、ひとつ前の号がweb上で閲覧できるようになります。創刊号から見た方はこちらから、<https://nakanoshima-daigaku.net/about/tomin/>

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 中央公会堂と大阪

大正7年(1918)の竣工から今年で100周年を迎えた大阪市中央公会堂。この機会にしっかり公会堂の歴史や建築について学んでみよう。

●『月刊島民』vol.122は2018年9月1日発行です!

編集・発行人 / 大迫力(株式会社140B)
 編集・発行 / 月刊島民プレス
 若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)
 松本 創 山岡恭子 道田恵理子(株式会社140B)
 〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号
 TEL.06-6484-9677 FAX.06-6484-9678
 制作進行 / 堀西賢(ALEGRESOL)
 デザイン / 山崎慎太郎
 表紙イラスト / 奈路道程
 印刷 / 佐川印刷株式会社

宇治川の鶺鴒 × おけいはん

UJIGAWA no UKAI

O KEIHAN

🌊 日が沈むころ…

🌊 宇治の川が輝きます!



[今回の達人]
澤木 万理子



宇治川 / 出町柳 けい子 (おけいはん)

宇治川で季節の風物詩にひたり、ゆったり涼しく旅気分。

鶺鴒の達人、澤木 万理子さんに教わったのは、
ひとと自然のつながりがつくる、ここだけの情景。
まだ知らなかった宇治の魅力に、引き込まれました。
くわしくはwebマガジンを見てくださいな。

めざせ！沿線の達人

webマガジン《宇治川の鶺鴒編》公開中! >>> www.okeihan.net  
京阪電車主要駅のチラシもご覧ください。



京阪の
おけいはん。